

令和4年度 学校経営計画書

学校番号	54	学校名	県立榛原高等学校（定時制）	校長名	鈴木 安雄
------	----	-----	---------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 校訓・生活信条

校訓「至誠真剣」 生活信条「時を守り、礼を正し、場を浄める」

(2) 教育目標（スクール・ミッション）

地域に根差した定時制高校教育の伝統校として、地元の企業や人材と連携し、個に応じた教育を通して、時代の変化に対応できる人材の育成を目指す。

(3) 目標具現化の柱

- ア 生徒の生活…基本的な生活習慣を身に付け、自他を尊重する態度をもった生徒を育成する。
- イ 生徒の学び…基礎学力を定着させ、生徒がそれぞれ最適に、主体的に学べる学習指導を行う。
- ウ 生徒の進路…一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携しつつ個に応じた進路指導を推進する。
- エ 安全・衛生…心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な学校づくりを行う。
- オ 教員の学び…外部機関や全日制と連携した研修等により、教職員としての資質向上を図る。
- カ 改善・広報…地域関係者等とともに教育改善に取り組むとともに、適時に情報を共有・発信する。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	基本的な生活習慣を身に付け、自他を尊重する態度をもった生徒を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○社会に適應するためのモラルやマナーの育成を、全ての教育活動において適切に指導する。 ○「時を守る」ことを適切に指導する。 ○欠席・遅刻・早退者に対する面談を、個々の事情に配慮しながら実施する。 ○登校時のあいさつ等、日常場面での指導を通し「礼を正す」ことを涵養する。 ○自他を尊重する態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○月毎の規範意識目標を守っている生徒 90% ○期限を守っている生徒 90% ○遅刻は1日平均1人以下、欠席は1日平均2人以下 ○校内においてあいさつができていない生徒 95% ○学校・生徒会行事に協力的に参加している生徒 90% 	生徒課 教務課 学年
イ	基礎学力を定着させ、生徒がそれぞれ最適に、主体的に学べる学習指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○定期学力テストの活用により基礎学力の定着に向けた指導を行う。 ○生徒の実態に即しつつ、授業内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。 ○協働的な学びやICT機器を活用した授業を実践する。 ○総合的な探究の時間において、主体的な学びを推進する。 ○始業前に読書を推奨し、読書を習慣付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力テスト合格者 70%以上 ○授業満足度 80%以上 ○ICT機器を活用した授業を実践する教員 80% ○総合的な探究の時間において主体的に取り組む生徒 80% ○年間読書冊数6以上 	教務課 各教科 学年
ウ	一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携しつつ個に応じた進路指導を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○LHRや進路ガイダンスによる体系的な進路指導と適時の個別指導を行う。 ○地元企業と連携を図り、進路開拓や就労支援の充実を図る。 ○進学希望者のための進路ガイダンスを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路指導満足度 80%以上 ○進路実現に向けた保護者面談の実施 2回以上 ○卒業後の進路決定者 100% ○バイターンを活用した就労 3人以上 ○進学に関する情報提供、学習支援を個別に行っている。 	進路課 生徒課 学年

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
エ	心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な学校づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員・生徒が感染症予防を適切に行う。 ○体調管理や傷病時における治癒の重要性について、生徒・保護者への働きかけを徹底する。 ○食の大切さを学び、健康な生活を心掛ける指導を行う。 ○教育相談体制と個別の支援を充実する。 ○生徒情報の共有により問題行動、いじめ等を未然に防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員・生徒が感染症予防を徹底している。 ○受診勧告書に対する治療状況報告 60%以上 ○朝食摂取率 80%以上 ○外部関係機関と必要な連携を行っている。 ○生徒情報交換会 週1回実施 ○いじめ、体罰、交通事故0件 	保健課 生徒課 学年
オ	外部機関や全日制と連携した研修等により、教職員としての資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○相互の授業見学を積極的に行う。 ○生徒の授業評価により授業改善を行う。 ○校外研修や全日制との合同研修に積極的に参加する。 ○ワーク・ライフ・バランスを実現するために業務の適正化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相互の授業見学 年2回以上 ○授業評価アンケート結果 前年度比以上 ○校外研修参加 年1回以上 ○研修の内容・成果を会議等で共有している。 ○業務分担が適切であると思う教員 80% 	教務課 各教科 管理職
カ	地域関係者等とともに教育改善に取り組むとともに、適時に情報を共有・発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人生徒支援制度を活用し、支援の充実・改善を図る。 ○学校運営協議会（コミュニティスクール）を年4回実施し、効果的な協議の場とする。 ○地域・保護者に対する情報提供・広報を適時適切に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国人生徒保護者との面談を定期的実施している。 ○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○ホームページの記事 月平均10以上アップ ○定時制通信発行 年6回以上 	生徒課 教務課 管理職